

最新鋭の5軸マシン導入

SHIMADA (寄居町)

医療用血液分析装置部品の高精度加工技術の構築

自動車や半導体、光学機器関連部品の精密加工を専門とする。幅広い製品ラインナップをそろえた中でも、特に医療機器分野の伸長を目指している。そのため、の切り札になるのが、2015年5月に導入した5軸加工のマシニングセンター（フライス加工の工作機械）だ。

通常の3軸マシニングセンターが持つX軸、Y軸、Z軸に加え、工作物を傾斜させたり旋回したりできる2本の軸（B軸、C軸）を搭載し、これらを同時にコン

ピューター制御できる。より複雑な加工が可能になり、従来であれば複数回の切削が必要な部品加工も、2回で済むため製品の精度も向上する。



5軸加工のマシニングセンターで加工した医療機器用部品

例えば、血液の分析装置の部品。3軸マシンではできる加工が限られていたため「単価の出るいい仕事は取れなかった」（嶋田紀子専務）のが実情。それが5軸マシンの導入により加工の幅が広がり、3種類の部品が新たにラインナップに加わった。歯科用レントゲン撮影装置の部品についても、年末ごろから試作が始まる見通しだ。

医療機器のニーズは景気にあまり左右されない上、製品の仕様が大幅に変更されることが少ない点で、安定した事業継続ができる。同社としては全体の約2割を占める医療関連の売り上げを、将来的に7割程度まで持っていきたい考え。嶋田豊明社長は「加工と製品の幅が広がり、今後は幅広いニーズに対応していきたい」と話している。

【株式会社SHIMADA】

本社工場は寄居町富田1986。嶋田豊明代表取締役社長。1981年に創立。半導体や光学・医療関連部品の精密加工を行っている。扱う材質はアルミニウムを中心に鉄や真ちゅう、チタンなど。社長の趣味から開発した自社製品「M・シンカー」（海釣り用の金属製おもり）もある。従業員数は12人。